

週報

2007年 5月 13日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。
使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸

聖礼典の祈り

ああ神よ、たとえ私が全くあわれな罪人にほかならなくても、それでも私はなお少しも罪人ではありません。私自身について見れば、そしてキリストの外では、私は罪人です。しかし私の主である主キリストにおいて、また私の外では私は少しも罪人ではありません。というのは、私が堅く信じているとおり、主はその血をもって私のすべての罪を贖ってくださったからです。そのように、私はまことのしるしにおいて洗礼をうけ、神のことばによって解き放たれ、罪をゆるされ、自由で解放されていると宣言されています。そして、私の主イエス・キリストのまことの肉と血の sacrament を、たしかな恵みのしるしによって食べ、飲むに至りました。それによって私は罪のゆるしを受けたのです。それこそ、愛する主イエス・キリストが、その愛すべき血しおによってかちえ、手に入れ、獲得されたものです。そのことを、私はとこしえに主に感謝いたします。

アーメン

これは、宗教改革の中心人物、ルターの、聖礼典(私たちにとって、洗礼と聖餐のこと)に関する祈りの言葉です。Sacrament は、見えない神様を誰にでも見えるようにする教会の働きですが、罪からの解放と、イエス様の贖いに伴う恵の全てを、きわめて単的に、余計なものを付け加えることなく、教えてくれている祈りの一つです。私たちもいろいろな場面で祈りますが、余計なことを如何に口にしようとする無意味です。また、必要なことは口にせず、皆に聞いてもらわなければなりません。“奉仕者のための祈り”であれば、“奉仕出来ること、そのように神様が備えてくださったこと”のみを祈り、“献金感謝の祈り”であれば、“感謝なことに、献金する思いと、行いを私たちに与えてくださった神様、必要のために用いられますように”と祈ることが大切なのです。“祈る場合、異邦人のように、くどくどと祈るな。彼らは言葉かすが多ければ、聞きいられるものと思っている”と“主の祈り”を指し示す前に、イエス様は忠告されています。牧師はかっこよく祈る力があるわけではありません。“牧会の職務が祝福されていることのみ”を祈らなければならないのです。父祖の祈り、預言者の祈り、イエス様の祈り、教父の祈り、改革者、メソジストの祈り、現代の祈りに耳を傾けてみましょう。神様がみえます。